

禅野委員長挨拶(要旨)

2024年が開けて早くも2か月が経過しました。元日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。JR西労組グループも含めて組合員・家族への人的被害は無かったと聞いていますが、自宅、実家の家屋の損壊は相当数被害があり、自然災害の恐ろしさを思い知らされた災害でありました。この2か月間、早期復旧に向け懸命に作業に従事いただいた組合員の皆様に感謝申し上げます。現在、JR西日本の鉄道は和倉温泉まで復旧することはできましたが、奥能登では、未だ断水も続いており、復旧への道のりは時間を要しますが、JR西労組として連合の仲間とともにボランティアをはじめ最大限の対応をしていきたいと思ひます。

さて、3年半に及んだコロナ禍がようやく収束し、JR西日本のご利用も9割を超えるまで回復してきました。また、年末には「一時金」を獲得することができました。コロナ禍を乗り越えてきた組合員1人ひとりに対するの労苦に、会社が応えた成果であったと思ひます。2023年度も残り1か月になりましたが、今春のダイヤ改正では敦賀開業をはじめ、通勤時間帯の「らくラクやまと」の運行やJPタワーの開業、大阪プレDCなど、大阪エリアにとっても明るい話題も多くあり、震災で激動のスタートにはなりましたが、明るい未来に向け、皆さんと共に運動を進めて行くべく、地方委員会の開催にあたり、主要課題について問題提起申し上げたいと思ひます。

更なる職場からの安全確立について

福知山線列車事故から4月25日で19年となります。この間の労使の取り組みにより確実に安全性や安全に対する意識が高まっているのは間違いありません。しかしながら、昨年1年間で2名の尊い命が労災で失われました。私たちは、「職場の安全が鉄道全体の安全につながる」との認識に立ち、死亡労災を絶対に起こさない決意で、安全の確立に取り組んでいます。今一度、職場において、基本動作や、ルールが守れるものになっているのか点検いただきたいと思ひます。2024年度も様々な施策が系統別に予定されており、労働力不足に対応した業務体制の見直しや効率化施策に対して安全面から妥協なくチェック機能を働かせることが大事であると考えます。大前提になるのは、組合員が安全・安心して作業に従事できることが重要であり、課題があれば近畿協議会の中でも、しっかり労使協議を進めていきたいと思ひます。

私たちの仕事は、常に危険と隣り合わせで業務を行っています。引き続き、安全に対する高い意識を持ちながら、「安全お守り手帳」を活用し職場からの取り組みを要請します。

2024春季生活闘争について

賃金実態調査への集約をはじめ撤布など、この間の取り組みに感謝します。今春闘は、人財の確保、深刻な労働力不足、物価高や離職への対応をはじめ、賃上げに対する組合員からの期待が高まる中で、交渉が展開されています。「基準昇給」の実施について、会社は「年度初に実施を検討していく」との回答を早期に導きだすことができました。また、第3四半期決算については、3期連続の増収・増益を果たし、第2四半期決算に続き、通期の業績予想を上方修正しました。費用の面においてもコスト構造改革の深度化により、225億円の費用を節減することができたのも、組合員の努力の結果であるのは間違いありません。ただ、運輸収入は回復してきているものの、コロナ禍前の2019年と比較しても92.9%で止まっていることも受け止めなければなりません。

JR西労組は要求方針を中央委員会で確認しましたが、本委員会においても「年度初における基準昇給の実施」「ベースアップ1万円」「年間臨給5.7箇所」を柱とする要求について意思統一を図り中央闘争委員会の背中を押していきたいと思ひます。

ペア1万円は非常に高く感じるかもしれませんが、コロナ禍で奮闘してきた組合員の努力に対する分配という点では妥当な水準であり、物価上昇に照らし合わせても常識的な水準であります。JR西労組も1万円以上の要求を掲げて取り組んだ時期もありました。物価高に負けない賃上げの実現には、労使のマインドを変える必要があります。引き続き、支部・分会から春闘の機運を高める取り組みも要請します。

組織の充実・強化について(福祉対策部の取り組み)

職場からJR西労組運動に献身的に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。組織率95%に迫る今こそ、組合員に信頼される魅力ある地方本部を創り上げていく所存です。西労組全体では組織率95%を超えましたが、少数とはいえ、私たちの仲間を離れていく事象も発生しており、更なる職場活動の充実・強化、コミュニケーションの重要性が求められています。引き続き、人とのつながりを取り戻すためにも、組合員との双方向のコミュニケーションを重視し絆を深め、気軽に相談できる、何でも意見が言い合える心理的に安全な職場を築き上げなければなりません。加えて、職場でのハラスメントの撲滅にも継続的に取り組み、誰もが退職するまで生き生きと働くことのできる職場を労使で創り上げていくこととします。

また、4月には、新規採用者の新入社員が入社します。全員をJR西労組の仲間を迎えとともに、各種共済の加入に向け支部・分会のお力をお貸しいただきたいと思ひます。具体的には組織対策会議で取り組み内容を深めていきたいと思ひます。

その他、福祉対策部の取り組みの1つである、こくみん共済coopへの加入促進として、マイカー共済のご加入のご案内を郵送させていただいています。是非、他社のマイカー共済をご契約いただいている方は、お見積もりを取っていただき共済掛金を比較していただきたいと思ひます。

福祉対策部の取り組みは、支部・分会役員の手話役なくして、加入促進は出来ませんので、是非、最大限の協力を要請します。

その他、JR西労組の主要課題の1つに政策実現に向けた政治への理解・参加を深めることも重要であると考えます。持続可能な交通体系の構築に向け、地方ローカル線の課題を含め、現在の置かれている状況を正しく理解し、政策と政治は密接に関係していることを組合員・家族に理解・参加を深める運動を進めていくこととします。

最後に、冒頭に申し上げましたが、今年は敦賀開業をはじめ、大阪駅西エリアの開業、大阪プレDCなど、多くの人が大阪を訪れることとなります。是非、プロジェクトを成功させ、私たちの生活を取り戻す1年に皆さんとしていく決意を申し上げたいと思ひます。

以上、本委員会に課せられた主要課題について申し上げます。後ほど提起する方針について活発な討議をいただくことをお祈りし、執行部を代表してのご挨拶とします。

禅野議長(大阪地方本部執行委員長)が春闘勝利に向け全力で始球式を行い、その後各チームに分かれ親睦を図った。休日ということもあり、女性や子供連れの参加もあつて和やかな



団体や女性など各部門別に表彰を行った

JR西日本連合大阪地方協議会は3月10日(日)、心齋橋サンポルに於いて、「2024春季生活闘争勝利」団結ボウリング大会を開催した。

JR西日本連合の「2024春季生活闘争」を闘うにあたり、グループの皆様と一層の団結と親睦を図るために実施し、当日は笑顔いっぱい楽しい大会となった。



和やかなムードでボウリングを楽しんだ

人財への投資、労苦に報いる回答をめざして JR西日本連合の「2024春季生活闘争」勝利を!!

JR西日本連合大阪地方協議会主催 「2024春季生活闘争勝利」団結ボウリング大会を開催

川原書記長 総括答弁(要旨)

本委員会は、4年ぶりに出席範囲をフルスベックにし、総勢250名近い組合員に集まっていた。後ほど、春闘決起集会を開催しますが、他産業を迫逐するような2024春闘を盛り上げてまいりたいという風にて考えております。

本日は7名の委員から地方本部方針に対して補強いただいた。

ほぼ、すべての委員から、安全の取り組み、業務課題、2024春季生活闘争、組織について触れていただいたと思ひます。

安全について

福知山列車事故からまもなく19年となります。安全の取り組みについては、日々の皆さんの取り組みにより、安全性は確実に高まっているのは事実です。ただ、この半年間において連続して死亡労災も発生し、また一歩間違えればというような事象もここ頻繁に続いています。危険な事象が発生していることを考え、職場にあるリスクに対して、個人だけで気付きを感じることは難しくなりつつあるかもしれないが、チームで仕事をしている以上、ひとつとつづがつづしていくことが大事です。当たり前のことを馬鹿にせずちゃんとするABC運動(A:当たり前のことを、B:馬鹿にせず、C:ちゃんとする)を職場の中に浸透をさせていただきたい。

日々の業務の中で、培った経験と技術を生かしてこれまで以上に安全に対して高い意識を持っていただくこともお願いしておきたい。

そのためには安全お守り手帳を活用し、職場、お客様、仲間、そして自分自身の安全を守っていただきたい。安全に終わりが無いのを認識し安全の取り組みを進めていただきたい。

2024春闘について

中央闘争委員会も、組合員の負託に応えられるよう交渉に臨んでいます。現時点で定期昇給の実施を判断し、前向きな交渉がすすんでいるように見えます。今こそ人財への投資こそが、離職に歯止めをかけ、この会社を守り続ける原動力となることを会社に感じていただきたいと思ひます。私たちの生活を守るため、要求実現に向け最後の最後まで、撤布の思いを中央闘争委員会に届けていきたい。

働き方改革について

これからの5年間は変革期・復興期の第II期、そしてそのさらなる5年後は進化・成長期と、10年先を見据えたと想像がつかないほど、技術革新が進んでいるかと思ひますが、社会の動きに乗り遅れないよう、

この機会をチャンスと捉え、検証を進めてまいりたい。一方で、変化のスピードについていけない現状もあるかと思ひます。

走れるところはしっかりとスピード感をもってやらなければなりません。一旦立ち止まりしっかりと検証しなければいけないものは、議論しなければいけないと思ひます。そして時間外労働もご報告いただいていると思ひますが、業務量が多く、一部実績をあげていないのではないか?というような事も散見されています。正しい報告をすれば、管理職も我々もホントの業務量がわかります。業務量を減らすには、正しい実績の積み上げが不可欠になります。

組織の充実・強化について

昨年に引き続き、会社を去っていく社員が止まりません。また組合活動を再開しようとしても、コロナ禍で自粛をしていた影響なのか、このままでいいんじゃないかというような声も聞こえてきます。

我々としては、コロナ禍で多くの課題を皆さんと共に解決してきました。

これからは入ってよかったと思われるような、楽しい西労組運動を進めていかないとはいけません。世話役活動の原点は、分会・職場にあり、組合の必要性を組合員に理解・浸透させていくことが大切です。ぜひ、引き続きの取り組みを要請させていただきます。

まもなく、新入社員が今年も入社してきます。そして来年には1420名の採用計画がプレスされました。5月からは開催できていなかった歓迎会なども再開できると思ひます。withコロナを意識しながら、分会の組織強化を強める分会活動を再開してください。コロナ禍前を知らない若手組合員に対し、しっかりと先輩の皆さんが寄り添ってあげて、西労組の存在意義や組合の必要性を理解いただけるよう、分会からも取り組みをお願いします。地方本部も皆さんと一緒に組織強化につなげていきたいと思ひます。

最後に、政治・政策について

政治活動は、会社の労使交渉で解決できない税制や法律など、私たちの暮らしをよくするためには、私たちの代弁者である議員を各議会に送り出さないとはいけません。組合員へ、政治の浸透や政策への理解を深める取り組みも再度お願いしたい。

結びに、まだまだ苦難な期間が続くかと思ひますが、皆さんの思いを胸に禅野執行委員長を筆頭に、2024春闘勝利に向けて大阪地方本部は総団結していくことを申し上げ、総括答弁とします。共に頑張りましょう!

重要 「ろうきん」からのお知らせ

現在 各会員(組合員) 口座に 月末に振り込み



5月から (例) 給料日に 振り込まれます!

*融資など全てが変更になりますのでご注意ください。

近畿ろうきんの振り込み日が変わります! /

●現在 31日に口座振込み	●改正 25日に口座振込み
↓	↓
1日に融資等引き落とし	1日に融資等引き落とし

*融資等の返済金を下してしまう期間が長くなるため、融資等引き落とし時(月初め営業日)に返済額分の残高がないと翌日から延滞料金が発生します!

*奈良支部はすでに25日(給料日)に振り込みされていますので変更はありません。

詳しくは、近畿労働金庫 天王寺支店まで (06)6772-9491